

提 案 概 要

(北九州市立浅野社会復帰センター 指定管理者)

団体名：社会福祉法人北九州精神保健福祉事業協会

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
「障害があっても一人の人間として尊厳を持って住み慣れた地域で自立して生活ができるよう支援する」という基本理念のもと、障がい者本人とその家族や関係機関・地域住民との緊密な連携や、障がい者に対する社会の理解を深めるため、あらゆる機会を通じて情報発信すると共に、専門職としての自己研鑽に努めます。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
専門性と経験ある人材を確保・配置し、研修やキャリアパス、福利厚生で育成・定着を図ります。令和6年度決算で流動比率1,489%、純資産構成比率90.14%と安定性を確保。収益多角化やICT活用で財務体質と投資余力を整え、地域ネットワークと公益性を活かし、質の高い支援を継続し地域福祉に貢献します。
(3) 実績や経験など
平成12年の開設以来、一般就労支援を中心に精神・発達障がい者の生活向上に取り組んできました。平成25年に発達障がい者特化の「ジョブサポートセンター八幡」を設立し北九州市の支援体制を強化。令和6年度には2事業所で20名が一般就労へ、就労定着支援では企業訪問や関係機関との連携で課題解決に努め、令和5・6年度定着率は94.1%、86.7%、支援終了後も70.37%を維持。浅野社会復帰センターでは支援員9名中6名が資格保持者で専門性を活かしています

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
当施設は、障害者総合支援法の柱「就労・社会参加の促進」を最重要目的とし、設置目的「その人らしい働き方と暮らし」や法人理念「障がいがあっても尊厳をもって地域で自立して生活する」の実現に取り組めます。就労系サービスでは個別計画に基づき訓練・実習で能力を養い、ハローワーク等と連携して就職から定着まで支援。共同生活援助や地域活動支援センターと連携し、生活基盤と心身の安定を支えます。
(2) 利用者の満足度
利用者の満足度をサービスの質の指標とし、個別支援計画で希望を反映した目標設定と日々のコミュニケーション・モニタリングでそのプロセスを確認します。就労系や就労移行支援では工賃・賃金の説明を徹底し、就職率・定着率の向上にも努め満足感を高めます。意見箱や定期ミーティング、年1回以上のアンケートで意見を収集・分析しPDCAを回すことで、働く喜びと地域で暮らしていく自信に繋がる質の高いサービスを提供します。

【効率性】に関する取組み
(1) 指定管理料及び収入
施設の安定運営と質の高いサービスのため、補助金や事業収入を効率的に運用し、透明性の確保に努めます。支出は会計区分と費用対効果を検証し、事務集約や備品一括購入、点検・計画修繕でコストとリスクを抑制。収入は通所率向上や在籍確保、工賃・報酬維持に努め、就労移行支援で就職・定着者を輩出し、財政的自立と持続可能な運営を実現します。
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性
本収支計画は、過去実績と将来予測に基づき妥当性と実現可能性を確保しています。障害福祉サービス報酬や生産活動収入は稼働率・加算状況・市場動向を踏まえ保守的に算定し、支出は人件費や経費を適正配置・過去実績に準拠。稼働率維持、生産性向上、登録利用者増、多機能型のコスト管理、予備費計上により、安定した財政基盤と持続可能な運営を実現します。

【適正性】に関する取組み
(1) 管理運営体制など
当事業所は、利用者が安心して社会参加できるよう、安全で質の高いサービスと管理体制を整えます。障害者総合支援法を遵守し、個別支援計画や苦情解決体制を運用。研修で虐待防止と身体拘束禁止を徹底し、設備点検や BCP 訓練で安全管理を強化。職員研修や労働環境整備、会計透明化で基盤を強化し、信頼される事業所を目指します。
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
平等利用のため、障害特性や性別による差別なく公平なサービスを徹底します。虐待防止・身体拘束適正化委員会を定期開催し、研修にて人権意識を高め、透明性ある苦情解決体制で権利擁護に取り組みます。安全面では、作業環境を確認し事故防止に努め、感染症指針に基づく衛生管理と備蓄を徹底します。危機管理では、災害や感染症に備え BCP を策定し共有。避難・安否確認訓練を行い、非常時も生命を守り支援を継続します。
(3) 地域貢献・社会貢献
私たちは地域に開かれた福祉拠点として、利用者支援に留まらず地域の活性化と福祉向上に努めています。社会参加の一環として地域清掃活動に参加し、美しい街づくりに貢献。また、専門性を地域へ還元するため、精神・発達障がいのある方やご家族を対象に無料相談会を行い、就労や生活の不安解消を支援しています。さらに、地域行事の際には駐車場を開放し、住民との信頼関係構築にも取り組んでいます。これらを通じ、誰もが支え合い自分らしく暮らせる「地域共生社会」の実現を目指します。

提案額（千円）

令和 8 年度	0 円
令和 9 年度	0 円
令和 10 年度	0 円
令和 11 年度	0 円
令和 12 年度	0 円